

～海鳴り遙かに～

上高だより

令和 元年6月28日 金曜日
第 3 号



長崎県立上五島高等学校
NAGASAKI PREFECTURAL KAMIGOTOU HIGH SCHOOL



点はつながる

校長 原 昌紀

今年度の県高総体も駅伝競技を残し終了しました。開会式での上高生らしい堂々とした入場行進や各競技会場での選手の奮闘ぶりを間近に見ながら、上高生の秘めた可能性の大きさを改めて実感したところです。

“You can't connect the dots looking forward; you can only connect them looking backwards.

So you have to trust that the dots will somehow connect in your future.

You have to trust in something — your gut, destiny, life, karma, whatever.

This approach has never let me down, and it has made all the difference in my life.”

(将来を予め見据えて、点と点をつなぎあわせることなどできない。できるのは、後からつなぎ合わせることだけだ。だから、我々は今やっていることがいずれ人生のどこかでつながり、実を結びことを信じるしかない。自分の根性、運命、人生、カルマ…、何にせよ我々は何かを信じないとやっていけないのだ。私はこのやり方で後悔したことはなく、むしろ、今になって大きな差をもたらしてくれたと思っている。)

これはスティーブ・ジョブズ (iTunesや、iPhone、iPad等の製品を大ヒットさせた、現在のアップル社の創設者) が2005年にスタンフォード大学で講演を行った時の有名な言葉です。英語の教材等で読んだことがある人もいるかもしれません。

ここでいうdotsとは、一つ一つの出来事や経験という意味です。 — 「将来を見据えて点をつなぐことはできない。振り返ってみて初めて点をつなぐことができるのだ」 — 実に深い言葉です。

スティーブ・ジョブズは、かつてカリグラフィー (西洋や中東などにおける文字を美しく見せるための手法) を学んだことがありました。まだ将来の夢も持てずにいる頃です。この時彼が、カリグラフィーを学んだ経験が後に開発することになるパーソナルコンピューターに革命を起こすことになるとは知るよしもなかったはず。彼は、コンピューターに革命を起こすためにカリグラフィーを学んでいたのではなく、カリグラフィーを学んでいたことがコンピューターの革命につながったのです。

私は小学校時代から十数年剣道を続けました。勿論、将来の夢を見据えて剣道を始めたわけではありません。しかし、教師になって、剣道を通して学んだことや経験は今の自分を支えてくれています。過去の経験や出来事は、その時々で振り返ってみた時に役に立つことや、参考になることが多いことに気付かされます。まさに点はつながっているのです。

今、高校生活を送っている皆さんにとっても、「振り返ってみるとあの時の出来事や経験が今の自分のためになっているな」ということがあるのではないのでしょうか。

長い人生の中で、人は様々な経験をします。それは楽しかったり、嬉しいものばかりではなく、苦しくきついものもあります。「なんでこんなことしなくてはいけないの?」という経験もあるでしょう。学習、部活動、学校行事、ボランティア活動、友人との付き合いなど、高校生活は様々な経験や出来事で溢れています。もしかすると今やっていることに意味や価値を見いだせない時もあるかもしれませんが、しかし、これから皆さんが切り拓いていく人生の中で、それらはきっとつながっていきます。将来、何がどのような形で役に立つかわからない、多くの“dots”をここ上高で刻んでおきたいものです。

“You have to trust that the dots will somehow connect in your future.”

トライアスロンボランティア 6月2日(日)に新上五島町内で開催された「トライアスロン in 上五島」にボランティア

として参加しました。応援はもちろんのこと、エイド係や給水係などの補助も行いました。また、開会式では、放送部による進行のもと、吹奏楽部による歓迎演奏や書華道部による書道パフォーマンスの披露を行いました。閉会式では、写真部が作成したスライドショーで、大会の様子を参加者のみなさんにお見せすることもできました。



←上五島高校の最新情報はこちらから。または下のホームページアドレスまで。ホームページを随時更新中です!!

<http://www2.news.ed.jp/section/kamigoto-h/index.html>

生徒役員選挙

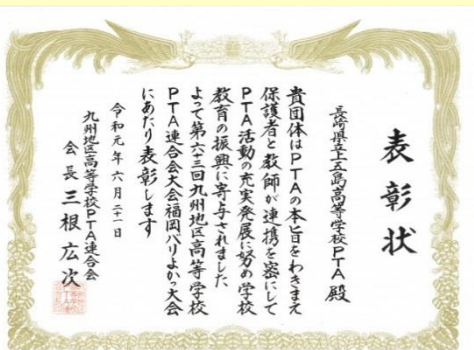
令和元年度生徒会役員選挙を行ないました。生徒会長に2名が、生徒会副会長に3名がそれぞれ立候補しました。選挙管理委員長に田島春樹君が任命され、ポスター掲示などの選挙運動を行った後、立会い演説、選挙管理委員長による投票の注意がありました。その日の昼休みに投票を行い、放課後に選挙管理委員により開票作業を行いました。主権者教育副読本による事前学習や、実際の選挙で使用されている記載台や投票箱を町選挙管理委員会からお借りして、本物の選挙に近くなるように工夫しました。



上五島高校PTAが表彰されました

第63回九州地区高等学校PTA連合会大会福岡バリよかっ大会において表彰されました。代表して、渡邊徳宏PTA会長が受け取りました。

代表して、渡邊徳宏PTA会長が受け取りました。



高総体期間中校内清掃

多くの生徒が高総体に参加する期間に、学校に残った生徒たちの手によって、校内清掃活動が行われました。生徒たちは校内の除草作業や中庭にある池の掃除などを頑張りました。



1学年より

高総体期間中、選手に登録された生徒たち以外は、校内の清掃やトライアスロン大会補助員などの活動に取り組みました。初めて参加したトライアスロン大会では、選手に対する応援をはじめ、観客に水を配ったり、ゴールテープの補助をしたりするなど、自分たちにできる仕事を探し出す積極的な姿勢が随所に見られました。今月末には期末考査が、来月には初めての全国模試や技能試験が控えていますので、「雨二モマケズ、風二モマケズ」目標達成のための努力を惜しまない1ヶ月にしたいと思います。

2学年より

あっという間に1学期も残り1ヶ月です。新しい学年になって、駆け抜けた3ヶ月。先輩と共に頑張った高総体、今まさに取り組んでいる1学期期末考査など、一つひとつの行事が終わっていきます。全力で取り組むことはできましたか。後悔はありませんか。

ここで自分を見つめなおすきっかけにしてもらいたいと思っています。学習面、部活動、家での過ごし方等、保護者の方と一緒に振り返り、アドバイスをいただけたらと思います。自分の将来像を描きながら、目標を立てて日々を大切に過ごしていきましょう。

3学年より

66回生最後の県高校総体が終わりました。保護者の皆様におかれましては、お子様の最後の勇姿を目に焼き付けられたことと思います。その中でも、陸上競技部の川野さん(3-3)と瀬戸君(3-4)が北九州大会への切符を掴むという嬉しい報告がありました。また、その勢いに押されるかのように、放送部(部長:川崎さん(3-3))も先日のNHK杯全国高校放送コンテスト長崎県大会において、2部門で全国大会への出場が決まりました。

さて、6月5日をもってほとんどの3年生は部活動を引退し、いよいよ進路決定への活動が本格化します。9月の就職試験を皮切りに、公務員・専門学校・大学入試と日々進んでいきます。部活動では「集団」での勝負でしたが、ここからは「個人」の勝負になります。お子様がどれだけそれぞれの進路に対して『本気』になることができるかだと思います。私たち3学年団も全力で指導・支援行っていくしますので、ご家庭におかれましても励ましの言葉やサポートをよろしくお願いいたします。

7月の行事予定

- | | |
|------------------|----------------------|
| 5日(金) 野球部・吹奏楽壮行式 | 16日(火) 面談週間(～18日) |
| 6日(土) ①②対外実力 | 18日(木) 球技大会 |
| ③対外模試(～7日) | 19日(金) 全校集会、表彰伝達、大掃除 |
| 11日(木) 保健講話 | 20日(土) ①②③土曜日学習会 |
| 13日(土) ③小論模試 | 22日(月) ①②夏季補習(～26日) |
| 15日(月) 海の日 | ③夏季補習(～31日) |